

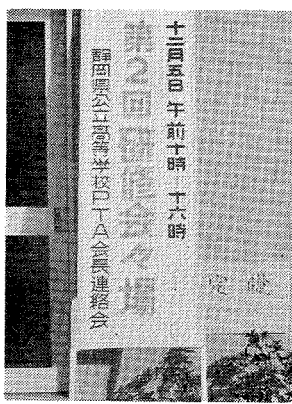
# 会 報

## 第二回研修会特集号

静岡県公立高等学校PTA会長連絡会

### 目 次

- ◇あいさつ 河合副会長
- ◇第二回研修会日程
- ◇PTAの運営について(第一分科会) 討議記録
- ◇全体会議(第三、第二分科会報告)
- ◇付 録  
公立高校PTAに関する調査資料  
父母と先生の会のあり方について



昭和四十二年十二月五日  
 日時 静岡市長谷町 静岡高校同窓会館  
 会場

**第二回研修会日程**

第一分科会 全体会議 Ⅱ 大会議室  
 第二分科会 Ⅱ 日本間  
 第三分科会 Ⅱ 小会議室

日程 一〇・〇〇 受付  
 一〇・二〇 一〇・五〇 開会

(1) 開会のことば  
 (2) 会長あいさつ  
 (3) 来賓あいさつ  
 (4) 日程説明

昭和四十二年度において、県内高校視察と分科会形式による研修会の二つを新しい事業として実施した。

学校視察は、東・中・西の三ブロックに分れ、本年は先ず各ブロック内の校種別代表校として各四、五校を選び、十一月中に実施し、相互理解を深める上に非常な成果を収めたことはよろこばしいことである。

この理解の上に立って、高校教育振興のため、PTAの運営、進路指導、生徒補導の三分科会に分れ、十二月五日、静岡高校同窓会館をお借りして研修会を開

### あいさつ

河 合 多 三  
 (副会長)



催したところ、県下高校PTA正副会長約百名参集、これに県教委、校長協会、警察本部等各方面の助言協力を得て盛会且有意義に行われ、多大の成果を収めたことは、ご同慶にたえぬ次第であり、関係者のご協力に對し衷心感謝する次第である。

このたびの企画と実施結果を反省し、この基盤にたつて、今後更に望ましい発展がとげられるよう、より有効な研修の積み重ねを希望し、その資料として、PTAの運営を主としてこのたびの研修記録をとりまとめ、会報特集号として編集配布するに至った次第である。

一〇・五五 一・二・〇〇 分科会  
 一・二・〇〇 一・二・四〇 昼食  
 一・二・四〇 一・四・三五 分科会  
 一・四・四〇 一・五・二〇 分科会報告  
 一・五・二〇 一・五・三〇 閉会

◇第一分科会 (PTA運営) 六一名  
 助言者 社会教育課 Ⅱ 望月次男・望月雨一  
 校長協会 Ⅱ 望月庄次郎・三上正男  
 高P連正副会長 Ⅱ 藤森常次郎・中野東三・北村精一  
 司会者 小川清五郎・木村一郎  
 発表者 鈴木行男(沼津盲学校PTA会長)  
 海野一郎(静岡商業高校PTA会長)  
 長) 中村光雄(新居高校PTA会長)

◇第二分科会 (進路指導) 一五名  
 助言者 学校教育課 Ⅱ 風間誠之、校長協会  
 Ⅱ 式守富司・佐藤 賢・中江 斉  
 ・中島常男  
 司会者 村上芳郎・一言 俊  
 発表者 佐藤 賢(韭山高校長) 中江 斎  
 (清水工業高校長) 中島常男(磐

田南高校長)

◇第三分科会 (生徒補導) 二九名  
 助言者 学校教育課 Ⅱ 鈴木春海、県警少年補導官 Ⅱ 鈴木数夫、校長協会 Ⅱ 大沢正人・小沢誠一・大杉文夫  
 司会者 河合多三・関嘉之吉  
 発表者 大沢正人(沼津東高校長) 小沢誠一(静岡市立商業高校長) 大杉文夫(浜名高校長)

### 分科会

第一分科会  
 題「PTAの運営はどのように進めたらよいか」  
 (司 会)  
 小川清五郎・木村一郎

山川(司会) 只今から第一分科会に入りたいと思います。PTA会長になってからまだ半年で日も浅く不慣れな事も多いと思いますが、皆さんのご協力ご支援で進めたいと思います。私どもに付託されたPTAのあり方について三名の方の発表があります。今日の会議は県に対する要望というよりな事ではなく我々の本当にやらなくてはならない仕事としてこの問題をとりあげ活発に議事を進めて参りたいと思えます。それでは今日の助言者を紹介させて頂きます。(助言者、出席者の自己紹介)

司会 それでは沼津盲学校PTA会長鈴木行男さんから発表願います。

鈴木 十一月一日東部の学校視察後、自分の学校の施設設備の貧弱さ、PTAの弱体からして発表しても何等皆さんの参考にもならないと考え、事務局へご辞退申し上げたところ特殊学校の実体を皆さんに知って頂くことに意義があるので是非発表せよというので勇気をだして話させて頂きます。

### 子どもの幸福のため めに手をつなぐ——特殊学校の母のつどい

うちの学校の P.T.A 予算は二六六、八一七円（小中学校月額一五〇円、高校二五〇円）これで一切やりくりするわけです。皆さんの学校と較べると児童生徒数（一一四名）も少ないが本当にお恥かしい次第です。従って学校のことは殆んど県費一本であり、この点皆さんの学校と大いに相違しているところがあります。このワクの中の運営であり、会長として書記会計をやっておる教頭からいろいろ相談を持ちかけられても、残念ながらこの為には学校の仕事にぶつてはならないと思いつながら我慢してもらうことが多いわけです。

私の学校では今まで四月頭初に総会をもち父兄の中から会長が選ばれるのですが今まで学校の近くに勤務地をもった前会長は娘さんが入学した時から十三年会長をつづけられ、これではならないと本年規約の一部が改正され私が引き継いだわけであります。どうかすると特殊学校の傾向として学校の関心もろろしく、ただよろしく頼むというような考え方が強かったように思っております。これではならない、教師と父母、父母と父母との結びつきによってのみ児童生徒の幸福はあり得るのであり、いたずらに父母が遠くから教師を拜んでいても実績はあがるものではない。父母が自分の子どもをひたかくしに恥かしく思うようでは子どもは真っ直ぐに伸びるものではないと思ひ、できるだけ学校を父母の集いの場にしたと考えたわけでありました。

その手始めとして今まで理事会（役員会）も殆んど開かれておらず、会合をもつても出席者が少ないことから、本年から定例的

に学期の始めと終りには一応父母も子どもの送り迎えにくるので会合をもつことに致しました。またこの機会を総会に切り替えることも考えてみました。どうも先程申しましたように父母が学校まかせで尻込みばかりしておつたのではと考へ、できるだけ総会などに出た皆さんの意見を尊重し、自分たちでできることはやろうということとして本年八月には始めての試みとして除草の奉仕作業をいたしました。

これによって児童生徒の第二期の作業は軽減され、父母は仕事を通して自分の子どものこと子どもの将来について気楽に話すことができ、お互いが一戸の親近感をもつたということには有意義であったと思ひます。これについては、わざわざ遠くから出掛けなくても出不足を金で出せばいいというようなことも考へられますが、金銭にはかえられない父母と父母とのつながりができたと信じます。

こんなことがきつかけとなつてお互いがかざりけなく話すこともできるようになり第二期行われた体育祭の日には、母親の声として母の会をつくるのではないかと、そして自分の子どもが学校を終った後までもお互いに話し合うような機会をつくりたいものであるという進んだ考へまで出てまいりました。私としても早速これを取りあげて理事会にかけ P.T.A とは別の会として母親の会をつくることに決定いたしました。その他生徒を中心とする特殊学校体育大会、児童の遠足などにも父母が参加できたら、どんなに子どもたちから喜ばれるだろうかと考へ、父母にも呼びかけ学校へも

話しかけようと思つております。大部分の子どもが親もとから離れて寄宿生活をしてるのでどうしてもこんな機会を多くして親子のあたたかいつながりを持てたいと思つております。

教師との結びつきについては授業参観日を小学部は毎月一日、中学部では学期一日やっておりますが、何かの都合で学校へ来た時はゆっくりと子どもの授業を見、担任との話し合いの場をもつようすめております。先程来度々申しましたように今までも私どもは、子どもは学校まかせで、どうも学校へご無沙汰がちであったが、障害者を持った親として子どもの幸福のために勇気をだして進んで会合にも出席しお互いに手を取り合つていくことが、経費は貧弱な P.T.A でも精神的に学校を応援することであり自分たちの子どもを伸ばすことではないかと信じるわけです。

### 商業高校は 人間が相手 学校による 特色を活かせ

先に実施された P.T.A の調査の回答をみましても、P.T.A は学校の施設への寄付行為が殆んどありますが、私の学校は商業高校であり普通高校とは違います。水産学校はカン詰とか船舶を、工業学校では鉄や土木をとりあげているように商業は人間が相手であります。相対するものは人間であるから高校の勉強第一の外に人づくりに目を付けていくということで、高校は人間づくりに主体にする方針で校長先生も同調しております。

たとえば服装にしても頭の毛をのばさない、映画を見る時は父兄同伴でも学校にとどけるようにし、生徒の行動については、ブルマーク運動を継続して教室の入口に十円

テーマの P.T.A 運営とは少し離れたかも知れませんが、私の学校の P.T.A の実態をお話し申し上げて責をふさがせて頂きたいと思ひます。

司会 ありがとうございます。次に中部の海野一郎さん（静岡商業高校 P.T.A 会長）から——

海野 先頃中部地区四校の見学をいたしました。意見発表をするようにとの事でしたが私は四月から会長をうけたばかりの素人で十分なお話もできませんが、過去に感じた感想の一端を申し上げてみたいと思ひます。中部地区で視察したのは静岡養護学校商業高校、焼津水産、島田工業高校など四校ですが養護学校は身体障害、商業は簿記とか商業英語、水産学校はカン詰、船舶機械、工業は鉄とか土木とか、学校によりそれぞれ特色があるということです。

箱をもりつけて精神的運動をたかめる。ブルマーク運動については前にも通牒があったようですが県下で十五校だったが現在では城北、浜松南など四校だということです。

又、インターアクトクラブでは演劇、マンドリンの会や廃品回収など行ない、慰安会などの寄付金で市内遊園地の植樹運動をとりあげ、インタリマンとの親密化をはかるため財界人との懇談会等を開いておりますが、これは学校を卒業したら地方に通用する人間をつくることにあります。

P.T.A は金銭的援助はもとよりですが生徒の精神的欠陥をなくすよう生徒会の正副会長、先生にも出席してもらひ、父兄、生徒、先生三者の連絡ができるよう参

加できる時間に開きます。PTAの役員会だけでは徹底しないからで、この席で校外補導問題——たとえば帽子を鳥打帽子のようにかぶる傾向がありますが、そういうことに対する意見をだしたりします。

私は補導員については父兄の一人一人が生徒に注意して頂くことが大切だと思います、というのは、その質問者が当の生徒の父兄だったという事があつたりしました。

(笑)特に校外補導問題はすべての会合の時、つとめてPRすることが第一で、特に痛切に感じたことは「PTAの会員の育成」だと思います。小中学校のうちにはよいが中

学高校になるとすべて学校まかせになりやすい、そこでなるべく多くの会合、集まりの機会をもつて親の教養を高める。

進学指導についても、もう少し進学のための学習をしたらどうかとか、普通科を設けてもつと進学に身を入れたらどうかというような声を聞きますが、私は、進学が目的ではない、この学校は実業学校で卒業すればそれが直接社会に役立つ人間をつくる

ところで従って簿記や商業英語が主体になっているのだ。

事だが、今の進学は逆に親が子どもを高校へ入れたいばかりに無計画に入りよいとこ

ろへ入れてしまふ、そうして子どもが大きくなってしまつてゐる。

PTAの運営という問題にはふれない発言になりましたが、父兄の教育が第一であることを私は重ねて申し上げたいと思

## PTAの運営と生徒補導の問題

中村 本日の会長が出席して報告の予定でしたが都合で私(副会長)が代理いたしました。私のところは一番新しい高校で、PTAについても外にくらべて進歩したところはなく、これという変わった所はありませんが、組織運営については新居、湖西、舞阪

はならなくなる。司会 非行の子どもがあつた場合、PTAには罰則を加える権限はあるべきものではないが非常にデリケートな問題だ、望月先生。

## 第一分科会の討議記録から

小川(司会) 午前引きつづいて会議を再開します。沼津のPTA会長の提案について希望意見を頂きたい、座談的の気持

に説得する、そういう時の言葉づかいなども打合せてやっている。

で話しあいを持っていきたい。

松崎高 補導の問題については高校では小中学校と違って処分の問題と関係があると思

司会 それでは三校の報告をまとめて質問

海野 処罰の問題は学校の規定にあるが、それが目的ではなく、その時の状況においてなるべく本人を傷つけないように慎重に

〇 静商の問題ですが評議員会に都合のつく限り出席するという話だが、印刷物では

〇 各学校の処分は学校側でやるか、それとの関連は? 処分する場合。

定例会は年三回となっているが?

司会 海野さん。

海野 生徒と先生を含めたPTAの合同会議は年四〜五回の評議員会だが細則にあるように校外補導、保健体育等の会合、運動

海野 うちの学校はなるべくそれを表に出さないようにして話し合い、表向けにはい

〇 生活指導の問題だが、父兄が生徒を補

〇 この問題は生徒指導はどうやったらい

導するのはその場でやるのかどうか。

司会 PTAには処分の権限はないがPTAと学校側とよく話し合いがなされたわけ

海野 うちの学校としては安倍川の花火大会のような物日には父兄と先生の校外補導

〇 PTAが言えば学校側が処分しなくて

委員が日割表で廻っている。注意する時は相手の感情をたかぶらせないように親切

望月(庄) 私は副会長で入っている、というのは多額の子算の執行に当って一々会長のところまで行くという繁雑さをさけるためである。その他事務処理のため十二名の職員を入れてある。

望月(庄) 会費の面は? 警田南 会費は免除されている。望月(庄) 教員の会費は免除されている。警田南 先程の発表でPTAの会合の中に生徒が参加しているというのは、PTAは父

静岡県公立高校PTAに関する資料調査に対する回答結果

昭42.11.30現在 集計89校

番号	調査項目	調査内容					検討すること
		副会長	顧問	その他			
1	PTA組織中、校長はどのような立場にあるか	65	9	15			一般に副会長が多いか顧問その他の例もあげ実際上どれがよいか
2	PTA会長になる資格はどのようであるか	生徒父兄	その他				生徒の父兄でない場合の地区の実情と運営上得失
3	PTA事務主任は誰がなっているか	教頭	事務長	職員	P側		3種あるが運営上いずれが適当か各校の実情を話しあう
4	現会長の在任年数	1年	2年	3~5年	6~9年	10年以上	各校PTAの会長任期及び選出方法等規約につき話しあう、長期の場合の運営上得失など検討
5	委員会の組織の有無	有	無				委員会組織の種類、内容、効果等話しあう
6	後援会の有無	有	無				後援会とPTAとの関係、事業内容、出費額等話しあう
7	PTA会員数はどの位か	P会員数 最高 最低	T会員 最高 最低	その他 最高 最低			特殊学校中天竜養護P60、T12でここへは特殊学校以外の高校を示す。その他の会員について会則とともにその実際についても話しあう
8	成人教育活動をどのようにやっているか	全会員	主として父母	主として父	主として母	その他	PTA本来の趣旨に添う両親自体の教育は高校PTAにおいては今後の課題であるが、先進校PTAの実施例を話しあう
9	校外生活指導はどのようにやっているか	親子会	校外補習	安全指導	環境整備	その他	校外補習が圧倒的に多いが、親子会6という例については実施例の発表をねがい話しあう
10	学校への協力はどのようになされているか	学校美化	学校給食	施設設備の改善	その他		施設設備の改善が従来の高校PTAの主たる事業となっていることが統計によってもうかがえるが、学校給食6校の例については発表し、話しあう
11	PTA会費は月いくら位集めているか	P 会 員 最 高   最 低		T 会 員 最 高   最 低		その他	T会員より集めているところは県下4校のみである。PTAの性格より今後この点についてはどのようにすすめてらよいか話しあう
12	PTAの入会金をとっているところはどの位の額か	最 高	最 低				高低の差が大きい、その実情について話しあう
13	入学寄付金はどの位集めているか	最 高	最 低				入学寄附金の使途などについても話しあう
14	施設等 寄付額	最 高	最 低				施設の内容、出金方法、寄付額のきめ方など話しあう
15	年間収入はどの位か	最 高	最 低				特殊校の最高602,437、最低100,400、会計欄については特殊校は別途とする
16	年間支出はどの位か	事 務 費 最 高   最 低		事 業 費 最 高   最 低		後 援 費 最 高	学校により事務費、事業費、後援費にひらきがあるようであるが実情につき話しあう

安定した平安な教育を進めるためには教員の優遇についてもPTAで考慮する事はできないものか、単Pではできないが連Pとして将来どういう風に進めてゆくべきか。

○ PTAは父兄と先生のつどいだ、教職員組合がストをやるときに、PTAの名前を使ってやるのはどうかと思う。

アメリカから入った時、後援会的なあり方を入れてきたが父兄個々の会として考えるべきだと思ふ。現在のPTAは父兄と先生の会で、先生が納得しないのにPTAとして要求するのはどうかという事になる。

北村 私長崎大学の学長をや、昔の中学校から高校大学と始終悩まされてきたが、今日のPTAはPがなくて来年大学を受けさせようとする

人が多いと思ふが、その大学がどういう学校か、ある学校では教学を入学試験に課さない学校もあるがそういう点についても研究してない、Pというものはもう少し学校毎、学年毎の集まりをして学校の現状、子弟の現状、どういう進学、どういう方向にむけたらよいか、他の子どもの父兄方とも話しあう事が欠けているのではないか。Pというものの研究が足りないと思ふ。



〈第一分科会〉

私は城北に孫が厄介になっている。娘に教育は任せているがPのもりあがりがないと思ふ。進学のパーセントの多い学校では盛んにあるかも知れない。私は中学の時に自分の好きな学校に行きたいと思つた時に先生の言に非常に反感を感じたことがある。

望月(庄) 只今、北村先生のお話を伺いましたが、PTAは両親と教員といいますが、現在ではPTAは父兄という印象をもっている。そこでこの点はもしそういう危惧のある場合には父母オンリーの立場で仕事をすることが大切だ。教組の幹部諸公がPTAは父兄だと思つているから中立の立場にいてくれれば大成功だと思つている、大部分が会費も納めていないのだから。これはしかし団体としてどう動くかは皆さんの方で決める事だが。

○ 話の内容立ちはわかるがPTAそのものが父兄先生の教養を高めることは研究を要すると思ふ。当然教員もPTAの会員である以上そこまで考へるのが指導する立場だと思ふ。

○ 只今Pがまずいと思ふという話だが、私はTは校長だと思ふ、校長さんと先生とは一緒に思ふ。その代表が校長先生で、校長と先生の間が問題だと思ふ。

望月(庄) 私長は将来のあるべき姿として出発

することを申し上げた。ご要望の問題は現実の問題として申し上げたわけで、全く白紙として計画するならば全く新しい問題として考えるべきで、新しい陳情、要望は父兄オンリーがよいと思ふ。PとTは共によくなるなければならぬという立場からみれば、将来あるべき姿と現実の具体的な問題としては多少意味が違ふ。現実としてみれば反対する先生は側外の問題として考えていい場合とそうでない場合がある。

あそこで熱心にやっている先生は味方だと思つていない、もう一つは普通の先生と校長との間では一致している所もあり、そうでない所もあり、その中間も数多くある校長の言う所と教員の言う所とは一致しているところばかりではないのです。校長が皆に支持されることを念願はしているが、湖東高 教員は県、教育委員会が考える人事であると思ふ。(過激な教員を一つ所に集めたり時間の延長をしたりする事は一日も早く直して貰うような人事(配置)ができればなおつて行くと思ふ。静岡のような和やかな学校があればうまいと思ふ。裾野高 職員会議の性格ですが、その性格によって校長の立場が困難ではないかと思ふ。

司会 この問題ですが、私の方も十月二六日の事につきまして地区の世話人代表、会長副を交え一〇名、静岡へ二回も陳情、地区別に論議、会長を中心に苦慮して先生の待遇もよくする要望もPTAとしてどう対すべきか論議している。地区世話人を通じて校長とタイアップして今年よりも来年と参加する人員が減らしていくべきじゃないかと各地区で校長さんと相談して、人数は極力おさえていくようにした。

城北 静岡は静かというがそうではなく

北は県下でも多く罰せられた位です。Tの頭は校長だというが、PTAは女の子は七と三だ。七はPが責任を負うべきだ。両親がない子供の場合、たまたまTがいけないときPがいけないとまがって行く。Pの自覚が一番大切だ。どこまでもお互いが勉強し研修し合つて学校に任せておく問題じゃないと思ふんです。(先程の問題で)

一〇・二六と協議

○ 司会の方から一〇・二六の場合、たびたび協議したというが先般静岡でそういう決議をした(新聞報道)のは下から盛り上つたのではないと思ふが、

当分の間、父母会をつくらないと思ふ。PTAの総会を開いての意見ではないと思ふ。新聞に出ると一般大衆は成程だと思ふが、もう共産主義とかそういう連中は話合ひの問題にしてないと思ふ。国法を破り県の指示を破つてストをやるような考えに対してはPはおとなしいばかりではならぬ。

会長(出席) 今のお話は全部お聞きしてませんので食いちがうかも知れないが、この間の問題については一部の会長だけがやったという意見もあると思ふが、どういふ事をやっても理くつはつくと思ふ。私どもは各会長とも連絡をとり、理事会など教回開き各校とも相談してやっているので勝手にやったとは思わない。立場がちがうので見解がちがうと思ふ。ただ会長がどのように動いたかというよりもむしろそういう事があると父兄だけの立場で考える組織が必要ではないかという事だと思ふ。欧米の先進国はもとより、私もこの間まで東南アジアを回ってきたが、そういう国々でも教育は欧米風になつてきている。進路問題、卒業試

願にしてもちぐはぐが感じられない。ドイツへ行つた時、日本の教育は二十年の歴史しかないと言われたが、先方は何百年もつづいているんだと言っていた。そういう立場で色々な意見があると思う。文部省でも考えているようだが、後から反対意見があるかも知れないが我々は自信をもってやっただと思う。新聞やマスコミの問題はいろいろ問題があり、面白い事でないと思つてくれない傾向があり、そういうものがあると一般の反響があるが慎重にやっていた。高教組などとの間にも話し合いをやつていくようにいたしたいが全部がそうなつていくよう希望している。

○ 只今の意見でPとTが別々にあるという意見には反対である。

学校当局者は閉鎖的であるという面があるのでもう少し感覚的になつてほしい。年令的の高校の理事会は年配でズレがあつたがそれも検討した方がよい。問題になる会員の教育は文部省あたりで適当なテキストはないか、子供の教育に対する理解が足りない、高校もPRして活動するような面の運動があつてもよいと思う。

社教(望月) 先程の望月、北村先生のお話で小中学校、高校の指導方法のお話がありましたが、PTAは学校と家庭における教育のあり方とその振興をはかるもので環境整理、校外指導などの環境を整備するのは、①学習団体でなければならぬ、②社教関係団体なら社会教育的活動を展開しなければならぬが、学生運動等現実の問題については特に大学に言わせると、大学での運動は高校で芽ばえてくる、そういう問題、一般教養の問題、校外指導の問題等があるが、また他面PTAほど利己主義的団体はない。いわゆる一般社会の社会教育、

社会の環境をよくするという事を忘れていく。それらの展開がなされていない。会報四四号の中にもこのことが書いてある。県に於ても六月二三日の答申に基いて指導を進めている。アンケートの集約されたものの中に、校長先生が役職にあることについて問題があつたが校長が入つていてもなくても問題ではない。

参考として市町村立の小中学校PTAについては次の法規で規制されているが高等学校もこれに準じた扱いをうけている。(地方財政法二七条の三)

地方財政法施行令の十六条③を見ると、

- 1 市町村の職員の給与に関する経費
- 2 市町村立の小学校及び中学校の建物の維持及び修繕に要する経費

右経費をPTAの負担としてはならない。

処罰よりも「善行章」を

○ 実は先程から校外指導問題で処罰、という問題があつたが、よい事をやつた場合は表彰して、ほし、次の全体会議に提案するようにお願いしたい。

司会 それでは時間も経ちましたのでこれで閉会します。たいへん不慣れな司会でしたが活発な意見をだして頂き心からお礼申し上げます。



### 全体会議

第三分科会報告  
 題「生徒補導はどのように進めたらよいか」  
 (司会) 河合多三・関 嘉之吉

河合 第三分科会は「生徒の補導はどのように進めたらよいか」という問題で、①非行対策はどうあるべきかというところで、②交通安全対策については交通事故はどつしておこすかの原因をテーマに、時間がなかつたのでスピードアップで、いろいろ真剣な意見の発表があつて大変有意義な分科会でした。時間の都合もありますので要点をかいつまんで申し上げます、

#### 全体会議

交通安全対策  
 父兄が密接な連絡をとるにはどうすべきか、②交通安全対策については交通事故はどつしておこすかの原因をテーマに、時間がなかつたのでスピードアップで、いろいろ真剣な意見の発表があつて大変有意義な分科会でした。時間の都合もありますので要点をかいつまんで申し上げます、

#### 生徒の非行化の原因

学校生徒の非行化の問題については、進学して行く場合に目標がない。その理由は進学指導の不適性、そのために希望目標のない事が非行化につながる。又、父兄の虚栄心から進学して行くことなどがあげられ、今後の中学の進路指導については教委でも考えなければならぬと思います。

#### 生徒の交通安全対策

交通安全問題については学校でいくら指導しても無免許運転をやつたり、二列三列で国道を横行する。何故そういう(規則を守る)ことが事が行なわれないのか、違反事故の防止をしないのか、根本は、①遵法精神の欠如と道徳感の稀薄、②家庭の監督、協力の不十分があげられ、③本人の性格がそれにプラスされる結果である。

いずれにしても、これなどやかましく言

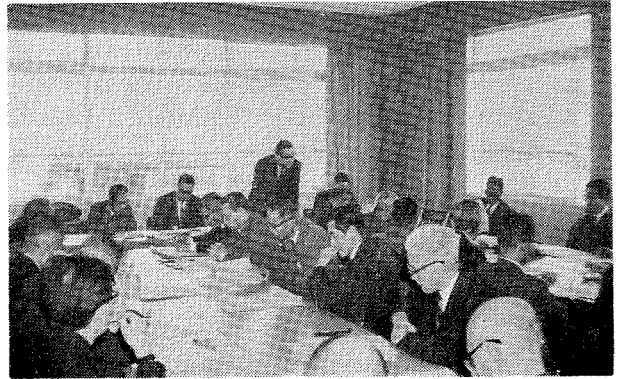
交通問題にしても一〇・二六にしても先生に対する不信任感が生徒の非行化につながる素因となっている。学校の場合、罰則適用に厳格だが、反面ほめることは、なおざりになつて、善行に対しては、大いに表彰し、褒め、励ますことが必要と思ふ。非行化の原因としては学校に希望がないということでも罰則の適用か、善行の適用かという問題。

校外補導については、補導員と活動の強化がとりあげられ、補導員は明確な記章、バッジをつけてはどうか、腕章をつけるのはどうか、という意見が出て研究しようということとした。

なお家庭の理解と管理についてはP側にとつて学校にきてもらい連絡をとつてもらう方途を講ずる、それには年一回ぐらいではだめで、学校毎に連絡の方法をとること、進学する生徒の勉強部屋の管理も必要。相当よい環境の家庭でこれが案外オロソカになつて、事が多く万引の品があつたり、性犯罪のものがおかれてあつたりする事があるという発表もありました。

要は原因はいろいろあるが、家庭の理解と子供のカンリが大切だということをおうじの学校、PTAにおいてやつてもらおうじゃないかということでした。

第三分科会



面も消化すべきだ。生徒の指導は学校と家庭で密接な指導をすべきだ。親の責任、Pの責任において協力願って万全を期する。こういう問題にはキメ手はないので、あらゆる要素をつみあげ、理解と反省、本人の指導が大切だという事でありました。(つづいて第一分科会の報告) 略

第二分科会報告

題「生徒の進路指導はどのよ  
うに進めたらよいか」

〈司会〉

村上芳郎・一言俊

村上 私の方は十五名でしたので、しっかりとしかも熱心な話ができたと思います。順序として先ず予定の三校の先生から、御発表と学校教育課の方から説明指導を頂きました。この研修会に対して事前にアンケートを出して頂いてありますので提案の三つについて検討しました。

進学率九九パーセント

進学の問題は自分の生活の中で職業がいかに左右するか、それを左右するのは自分たちの進学の問題であるから大切な問題で、葦山高の佐藤先生のお話の中で特別に關心の深かったのは、進学をされる方々が非常に多い。九九%が進学で一%が就職という状況で数字的な問題は省かせてもらいます。が、進学の力をつける補習という事については補充という名前を使っている。授業に欠けたものをやれば文句をつけられないからです。

補充教育については教師を呼びますので後援会をPTAとは別につくってやっていると話。

進学指導については特別の部屋をつくっ

学力がなくても大学へ  
はいりたいという傾向

関心を深めたのは自分の学力に合わなくても大学に入りたいたいという事である。その場合にはお前はダメだとは言わない。お前はこういう方面がよいと指導する。本人が希望してもむずかしいと思った時は率直に、お前にはこういう所があると指導している。もう一つは中学の段階において進路の選定に疑問がある。土台ができていないと高等学校に入ってからいくらやってもだめである。英語とか数学が一番重要なものになっているが、中学からよこした人の中にはどういいう事でもよこしたか疑問を感じる事がある。高校教育については県教委、小中については市町村教委の所管のちがいがこういう原因を生んだのだから何とか考えなければならぬ。

その後で県のご指導を頂いたしたが、その中で大きっぱにご報告すると、教育課の指導方針として、ホームルームにおいて個人の特性を把握して正しい人生観、職業観を養い能力の適性に応じた指導をする。

県の労働態勢の確保、受入態勢の整備については伊豆方面からも東京方面に出ているが、宿舍などの設備が不十分でそういう点を改善すべきで、学校側からも指導すべきである。

学歴偏重主義の社会

今後の問題点として学校教育重視から学歴偏重主義の社会的傾向で、学識のある者から採用するのは官庁でも同じだが改善すべき点である。ソニーの社長の話があり、過去の学歴を問題にしないで能力主義であるという事やその他婦人の労働問題、女性



第二分科会

勉強時間・テレビを見る時間についての調査

(ある工業高校)

勉強時間は学年が上がるにつれて僅かながら増加し、テレビの時間は逆に学年があがるにつれて増加している。3年はテレビ時間が勉強の時間のちょうど倍になっている。3年は調査時期が就職のほぼ決定した時の気のゆるみが出ているとも考えられる。全体にみれば勉強の時間が平均1時間25分は

少ないと思われる。2時間~3時間に増加したいものである。テレビの2時間19分は勤労青年でない学生としては少し多すぎるように思う。これは家庭の部屋の構造、又家庭団らんの方にも多少関係していると考えられる。(第三分科会資料から)

Table with columns for '勉強時間' (Study Time) and 'テレビを見る時間' (TV Watching Time), subdivided by grade level (全校, 1年, 2年, 3年) and percentage. Includes a '平均' (Average) row at the bottom.

会長 只今、第一分科会から第三分科会まで詳細な報告がありましたので了解いたしました事と思います。今日の分科会は少し心配しましたが、時

善行をたたえる運動を

の職場というとお嫁にいくまでの職場が大部分のようだが、職業を身につける進路指導等、アメリカあたりでは相当男の職場を女がしめている。男に代って男のやっているような仕事、そういう職場の時代が迫りつつある。それに対処し進路を考えなければならぬという話を伺った。その他引佐高校から、他の企業への就職に努力しているが求職がおそすぎる。全国の各県の学校へは十一月から就職せよという文部省の通達があるが他県で早い所があるので待っているとおくれしてしまう。求人競争の排除のためには実質的な措置が必要だ。○農業の後継者問題、特に青年に対しては工場の進出等により、より以上経営価値のあるもうかる企業にしてほしい。富士宮東校からは、補修をやりたい、能検テストを思っても日教組が反対する、PRする、困ったことだと討議したが、結論としては、○PTAの中でこの問題をと

りあげPTAの世論として話合っていく。日教組が反対する理由は、文部省が指導して統一的にやるのは軍国主義に通ずるので補修は正規の授業をしていけば必要ない筈だというわけですが、現実の問題としては到底ついていけない。補修はやらざるを得ない、現実即ちそうした問題についてはPTAの世論を求め、それを進めて解決以外にない。その外にも多少の問題がありましたがこの辺でご報告にかえさせて貰います。(以上分科会報告)

間が足りないという程で誠にありがたい。本来ですと全体会議で発言討議すべきであります。今日の場合は次の機会にゆずりたいと思います。第一分科会の助言者の先生から言われた事ですがPTAが教育の正常化に努力してほしいとの事でしたのでお知らせしますがご質問についてはごかんべん願います。なお第一、第三分科会から発言のあった「善行を讃える運動」が必要ではなからうか、少しの善い事でもほめてやらなければ意味がない、生徒の非行をやめさせるにはほめるのが非行防止に通じ、また、先生方にも通じるものと思えます。社教委連においても善行を讃える運動が進められておりますので善行を讃える運動にご賛成いただければ真にありがたい、方法は事務局で検討することとしても、草案を立てさせることをご決議をいただきたいと思えます。(拍手)

〈閉会のことば〉

今日は暮れもおし追ったお忙しいところをお集まり下さって有難うございました。皆さん方も本日の分科会の報告を伺い、いろいろお感じになったことと思いますが、とにかくPTAを打って一丸とした教育の正常化を念願とするものであります。今日の会合は始めての試みであり、びつたりいかなかった面もあったことと思えますが、今後は十分考え前進したいと願う次第であります。(拍手)

静岡市追手町五番三号 県民会館内 静岡県公立高等学校 PTA会長連絡会 電話(静岡) 八六一 内線二六